

地域の皆様からの「輝きみつけ」

古橋南若宮区にお住まいの方

先日、横屋方面から巢南古橋へ樽見線横屋駅の踏切を渡って帰宅途中のことです。踏切手前20メートルの小道の四叉路で、その角を車で西方面へ左折する際、2台の車が続いて左折することになりました。その角を下校途中の児童20人ぐらいと行き違いとなり、車はゆっくりと進み、または停止して、そして児童たちも止まったり、安全を確かめて前方へ移動したりしました。雨はあがり、傘をたたんでいる子達、さしている子達、年長の子達、年少の子達、足下が踊っている子、皆さん元気ですが、危険もいっぱいです。しかし切り抜けました。その折に頭を下げる子が何人かいることにも気付きました。傘をさしている4年生ぐらいの女の子が口を動かして、引っ込み思案で挨拶したのが印象的でした。“ありがとう”と告げなかったのでしょうか。

令和2年9月7日

※ 狭い道で車を運転していて、小学生の皆さんの姿を見つけると、運転手さんはスピードを落として慎重に皆さんの横を通って行きます。それは、皆さんにケガをさせてはいけないからという気持ちがあるからです。皆さんが車にぶつかって、痛くていやな気持ちにならないように考えてくださっている運転手さんは「南小あったか宣言」のことは知らないかも知れないけれど、「南小あったか宣言」を大事にしてくださったということです。

また、皆さんの姿を見て、スピードを緩めてくださったり止まってくださったりした運転手さんにお辞儀をしたり、照れくさそうに「ありがとう」と言ったりして、お礼の気持ちを表すことができたのは、横屋の皆さんが「南小あったか宣言」を大事にしたことになると思います。なぜかという、そうすることで、運転手さんがうれしい気持ちになるからです。